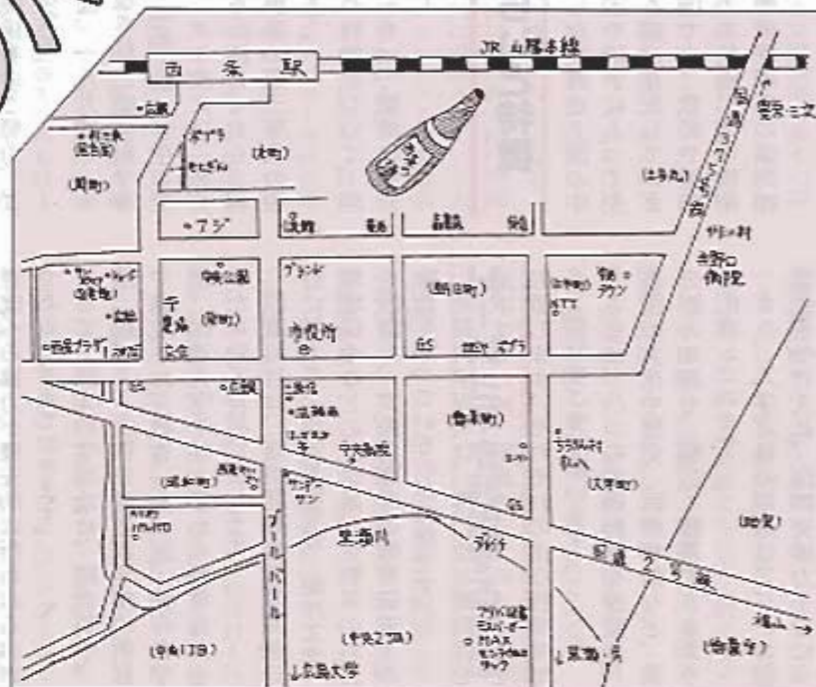


特集 2

キャンパスライフのために

豊かな

新入生諸君は、これまでの受験生活や家庭的制約から解放され、夢にまで見た自由闊達な大学生活に胸を躍らせていることであろう。諸君の豊かなキャンパスライフのために、新入生の心の健康管理、お酒の楽しく安全な飲み方、エイズとその予防法について考える。



(1) 再受験すべきかどうか
 広島大学に入学したことを素直に喜ばない新入生は意外と多いものです。かつて本学で行った調査では、一年生の約三割が「不本意入学のために転学部・転学科や他大学への再受験を考え

新入生の悩みとその対処法

るためにカウンセラーや精神科医が合計十名います。ここでは、カウンセラーの立場から、新入生が直面しやすい悩みとその対処法について述べますが、もし自分ひとりで解決できないときは、気軽にカウンセラーやグループのドアをノックしてください。

多くの学生諸君にとって、大学入学は「一人暮らしの一人暮らし」の始まりを意味します。物理的にも精神的にも親から離れて、自分自身の力で生きていくのです。一人暮らしがうまくいかどうか、キャンパスライフを左右する鍵とも言えます。本学では病气や事故のために毎年十名前後の学生諸君が在籍中に死亡しています。また、志なからにして学業を断念してキャンパスを去る学生諸君も少なくないのです。勉学面もさることながら、心身の健康面もしっかりと自己管理してほしいと思います。

はじめに

保健管理センター ◆ 児玉憲一

キャンパスカウンセラーからのアドバイス

(2) 気分が沈む、緊張する
 新入生には、「気分が沈む」「人の中に入ると緊張感が強くなる」「夜なかなか寝つけない」「食欲がない」などの訴えが多く見られます。この中には、高校時代から神経症や心身に悩まされており、大学に入学したからにはしっかりと治したいという治療意欲を持って来

たことがある」と答えています。現状に満足せず理想を追い求めるのは青年期特有の心性ですから、どこへ行っても多少の不満はつきものです。ただ、なかに不本意入学への不満や再受験への願望が非常に強く、本学での生活を続ける意欲をなくした学生がいます。このような学生に、私たちは次のようなアドバイスをしています。

「まず、親を説得して再受験することを認めてもらいなさい。それができたら、できるだけ早く受験生本来の生活に戻りなさい。仮面浪人(学生しながら受験生する人)ではなく、再受験に専念するのです。できれば、予備校に通いなさい。」

このアドバイスが実行できそうにないならば、再受験よりも今の生活を選ぶ方が良いでしょう。実際、新入生諸君が考える以上に広島大学では多くのことが学べますし、あわててよその大学に行く必要もないのです。

